

アルファ・ワイン 企業調査レポート

アグロ カネショウ (4955 東証一部)

発行日：2020/2/27

アルファ・ワイン 調査部

<http://www.awincap.jp/>

● 要旨

◆ 2019年12月期業績

- ・アグロ カネショウ（以下、同社）の2019/12期の業績は、売上高が前期比5.5%減の14,569百万円、営業利益は同42.9%減の1,230百万円、経常利益は同38.5%減の1,328百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同25.7%減の966百万円であった。
- ・減収要因を製品の種類別売上高からみると、売上構成比トップの土壌消毒剤の落ち込みが厳しく、減収寄与率は113%に達している。営業減益率が減収率を大幅に上回った理由は、2018年12月に行ったダーズパン等の営業権取得に起因するのれんの償却費増や研究開発費増等により販売費及び一般管理費（以下、販管費）が4,721百万円と前期比10.4%増加し、売上高販管費比率が32.4%と同4.7%ポイント上昇したためである。結果、売上高営業利益率は8.4%と前期比5.6%ポイント低下した。なお、18年11月の山口工場新設に伴う減価償却負担増（総額は854百万円で同2.4倍増）もあり、売上高総利益率は40.9%と同様に0.8%ポイント低下している。

◆ 2019年12月期の製品種類別概況等

- ・2019/12期の種類別売上高動向は以下の通りである。
- ・害虫防除剤は3,269百万円（前期比2.6%増）。国内ではダーズパンの貢献、海外では北米・欧州向けが伸長し、增收を確保した。とりわけ、スペインにおいて2018年に登録となったカネマイトが、2019年は想定を上回る受注を獲得し、同社業績に大きく貢献した。
- ・病害防除剤は898百万円（前期比2.3%減）。病害の発生が少なかったため減収であった。
- ・土壌消毒剤は7,756百万円（前期比10.9%減）。国内向けでは主力薬剤であるバスアミド、D-D、ネマキックとも減収であった。長雨影響が大きかった模様だが、一部農産物の市況下落等による需要低迷も逆風となったようだ。海外向けでは、中東向けのネマキックが好調だったものの、D-Dとバスアミドの不振を補えず全体として減収であった。
- ・除草剤等は1,576百万円（前期比3.5%増）。ソーラーを設置した土地向けのカソロン等の好調もあり、增收となった。
- ・その他は1,069百万円（前期比0.5%減）。展着剤、園芸用品は好調であったものの植物成長剤が減収となり、全体ではほぼ横ばいであった。

◆ 2020年12月期業績予想は大幅営業減益

- ・同社が予想する2020/12期業績は、売上高15,662百万円（前期比7.5%増）、営業利益897百万円（同27.1%減）、経常利益899百万円（同32.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益494百万円（同48.9%減）である。売上総利益率は41.1%とほぼ前期（40.9%）並みを見込んでいる。しかしながら農薬の登録維持費用の増加等により販管費が5,533百万円（同17.2%増）、売上販管費率は35.3%と前期比2.9%ポイント上昇を見込むことから営業利益は大幅減益予想としている。
- ・農薬の登録維持費用が増加見込みであるのは、2020年4月以降、我が国で登録されている農薬の再評価制度が導入されるためである。具体的には、15年間隔で最新の科学的知見に基づき安全性等を再評価することとなり、最新データの提出が求められるようになった。海外においても、ヒトの健康や生態系に

ショートレポート

1/4

アルファ・ワイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ワイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が企業内容の説明を目的に作成したものでの、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

及ぼす影響に対する最新データの提出を既に求められる傾向にある。

- ・2020/12期の種類別売上高予想では、2020年1月29日に新たに農薬登録となった兼商ヨーバル®フロアブルの貢献を見込んでいる害虫防除剤は前期比2桁増である。前期不振であった土壤消毒剤の売上高予想は国内向けの持ち直しを見込み前期比6%増程度を見込んでいる。
- ・兼商ヨーバル®フロアブルは、効果が期待できる病害虫の幅が広く、同社が既に販売している害虫防除剤とのカニバリも殆どないことから、同社は大型農薬（ピーク年商が大きく期待できる農薬）と捉えている。
- ・アルファ・ワイン調査部（以下、当調査部）の2020/12期業績予想は、売上高15,500百万円（前期比6.4%増）、営業利益900百万円（同26.9%減）、経常利益902百万円（同32.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円（同48.3%減）である。売上総利益率は41.6%と、定率法適用である山口工場の減価償却費低減により前期比0.7%ポイント上昇、販管費は会社予想並みの5,550百万円を見込んでいる。増収率が会社予想よりやや低いのは、害虫防除剤を同社予想よりやや多めに見込んだ一方、病害防除剤とその他等を同社予想より慎重に見込んだためである。
- ・当調査部の2021/12期以降の業績予想は、今春発行予定のフルレポートに掲載予定である。

◆ 大量保有報告書

- ・公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において2019年10月以降では、2019年12月13日開示で同社の筆頭株主である株式会社麻生が1,647,800株、自己株式を含む発行済み株式数に対する保有比率は12.29%（前回報告では11.28%）となった。2020年2月3日開示では、ユナイテッド・マネージャーズ・ジャパンが1,268,200株と同様に保有比率は9.46%（同9.14%）となった。

アルファ・ワイン 企業調査レポート

アグロ カネショウ (4955 東証一部)

発行日 : 2020/2/27

【 4955 アグロ カネショウ 業種：化学】図表 A

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2017/12	14,587	1.9	2,096	1.6	2,094	-0.4	1,922	49.5	152.11	1,406.75	22.0
2018/12	15,411	5.6	2,157	2.9	2,161	3.2	1,301	-32.3	102.99	1,451.23	22.0
2019/12	14,569	-5.5	1,230	-42.9	1,328	-38.5	966	-25.7	76.47	1,495.96	22.0
2020/12 CE	15,662	7.5	897	-27.1	899	-32.3	494	-31.7	39.09	-	22.0
2020/12 E	15,500	6.4	900	-26.9	902	-32.1	500	-48.3	39.55	1,513.52	22.0

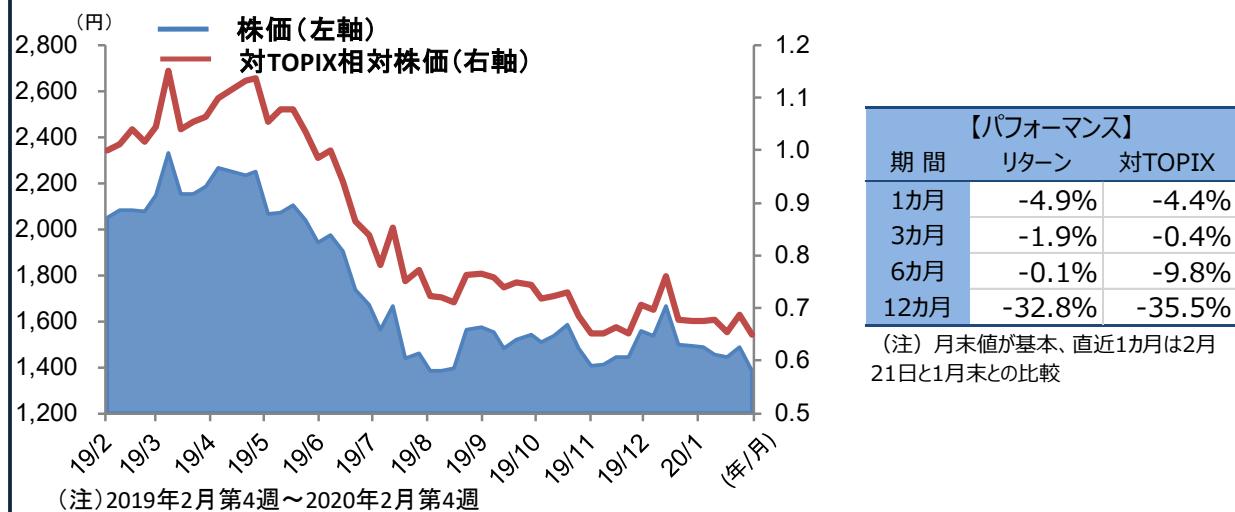
(注) CE : 会社予想、E : アルファ・ワイン調査部予想

【 株価・バリュエーション指標 : 4955 アグロ カネショウ】図表 B

項目	2020/2/21	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	1,384	前期実績	18.1	0.9	1.6%	28.8%
発行済株式数 (千株)	13,404	今期予想	35.0	0.9	1.6%	55.6%
時価総額 (百万円)	18,552	来期予想	-	-	-	-
潜在株式数 (千株)	0	前期末自己資本比率	62.6%	前期ROE	5.2%	

(注) 予想はアルファ・ワイン調査部予想

【 株価チャート（週末値）4955 アグロ カネショウ】図表 C



ショートレポート

3/4

アルファ・ワイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ワイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

ディスクレーマー

アルファ・ワイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ワイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客觀性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。（更新された）最新のレポートは、弊社のホームページ（<http://www.awincap.com/>）にてご覧ください。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.com】にてお願ひいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。